

2026年4月24日作成 Ver.1.1

## 《情報公開文書》

## ゲーム症早期発見に向けた患者血中タンパク質の網羅的解析

## 研究の概要

## 【背景】

スマホゲームの普及により、不登校や生活リズムの乱れを招く「ゲーム症（ゲーム依存）」が深刻化しています。現在は「家庭の問題」として見過ごされやすく、診断が遅れて治療が難しくなるケースが少なくありません。現在、ゲーム症を客観的に判断する血液検査などの指標（バイオマーカー）がありません。脳の画像検査などは大掛かりで、誰もが手軽に受けられる検査には至っていないのが現状です。

## 【目的】

本研究では、血液中のタンパク質の変化を調べることで、依存しやすさや進行度を測るバイオマーカーの開発を目指します。病状の変化に合わせて増減するタンパク質を特定し、早期発見・早期治療につなげます。

## 【意義】

本研究で見つかるバイオマーカーは診断・病態・治療・予防の多方面の関連研究を加速させるため、公衆衛生の向上に貢献できます。

## 【方法】

fMRI 検査による脳の活動度や、アンケートの結果から、ゲーム症の症状がどのように変化したかを調べます。症状が改善する前後で、血液中のタンパク質・脂質・代謝物などがどのように増減するかを調べます。

## 対象となる患者さん

## 【研究対象者】

ゲーム症患者

## 【選択基準】

- ① 各研究機関の長の許可日～2025年6月26日までに肥前精神医療センターで診断を受けた患者さん
- ② 13歳以上30歳以下（研究参加時）の患者さん
- ③ 本研究への参加にあたり十分な説明を受けた後、十分な理解の上、研究対象者本人（未成年の場合は代諾者も含む）の自由意思による文書同意が得られた患者さん。

## 研究に用いる試料・情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者背景：年齢、性別、既往歴、就学状況、職歴、家族構成
- 臨床所見・診断結果：ゲーム症の診断日ならびに病態の進行あるいは改善に関する所見
- 治療：抗精神病薬ならびに睡眠導入剤の処方状況、行動療法・作業療法の有無ならびに内容
- 精神状態の評価：「精神疾患の診断・統計マニュアル第5版（DSM-5）」のInternet Gaming Disorderに記載される9項目の評価
- アンケート：生活習慣とゲームとの接し方に関する調査

●研究に用いる試料

- fMRI：安静時およびタスク課題時で撮像（肥前精神医療センターの研究対象者で実施）
- 採血（タンパク質の網羅的解析ならびに代謝物・脂質の測定）：5 mL

本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

**試料・情報の利用開始予定日**

本研究は研究機関長の許可日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です。

あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。  
ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。  
あらかじめご了承ください。

**研究実施期間**

研究機関長の許可日～2031年3月31日

**研究実施体制**

研究代表者	所属：長崎大学病院 薬剤部 氏名：大山 要 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7245
共同研究機関／研究責任者	この研究は長崎大学病院を中心に全国2機関で実施します。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。 肥前精神医療センター 病院長・上野雄文

長崎大学病院における 試料・情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
<b>問い合わせ先</b>	
<b>【研究の内容、試料・情報等の利用停止の申し出について】</b> 長崎大学病院薬剤部 大山 要 〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095(819)7245	
<b>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</b> 苦情相談窓口：医療相談室 095(819)7200 受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）	